

「経営者のための働き方改革セミナー」開催結果報告書

地域事業所の経営者、管理職、人事担当者などを対象に、多様な人材が企業利益を生む事例から、女性活躍の必要性や労働生産性を上げるための働き方改革について学びました。

開催日・場所	内 容
平成 29 年 11 月 14 日 (火) 13 : 30 ~ 15 : 30 女性センター	「働き方改革で競争力アップ！」 労働生産性の向上・人材難解決、利益創出の好循環づくり ①働き方改革とは ②生産性を考える ③女性を活かした経営と企業業績の関係 ④事例研究～「こじれていない」会社はどこが違う ⑤働き方改革のポイント
受講者：19人 受講者の性別 女性 (10人) 男性 (9人) 受講者の年代 20歳代 (3人) 30歳代 (2人) 40歳代 (4人) 50歳代 (8人) 60歳代 (1人) 未記入 (1人)	
講師：油井 文江さん ダイバーシティ・コンサルタント・中小企業診断士 (株)ゆいアソシエーツ代表取締役 (一社)日本ダイバーシティ推進機構専務理事	

受講者から、セミナー全体の感想や意見などをいただきました。(アンケートより抜粋)

総合的評価コメント

- ・働き方改革に成功した企業ケースが多く紹介され、企業体質に促した改革について検討するヒントをいただけた。
- ・「働き方改革で競争力アップ！」についての考え方が整理されました。ただ、現在抱えている課題を開くカギは、すぐに見つからない不安も残ってます。「男性仕様」の改革として考え続けていきたいと思えます。
- ・残業についてのお話がたくさんありましたが、社に戻り、改めて考え直してみたいと思っております。女性がたくさん働ける環境が増える事が、社会にも良い結果を生むと思えます。

- ・セミナーの時間が短かったと思います。もっと先生の講話を聞きたかったです。
- ・雇用環境面でも今後も女性の採用が重要になってくる中で、組織改革の意識面等で参考となった。
- ・事例を用いて分かりやすい説明だった。油井先生の話し方がとても聞きやすかった。
- ・女性の活躍や働き方改革について理想だけでなく様々なデータを用いながら説明していただいたので、とてもわかりやすかったです。もっと詳しく話を聞いたり、参加者とも意見交換をしてみたかったです。

セミナーの内容を今後の実務にどう活かしていけそうですか

- ・残業の問題について、もう一度考えていきたいと思います。
- ・女性が多い職場なので、産休・育休のみにとらわれず、色々な制度を導入できたらと考えています。
- ・障害者の雇用を積極的に活かしていきたいと思いました。
- ・ボトムアップで成功したケースもあるが件数としては少ない。働き方改革＝時間外勤務というイメージがあるが、実行力をもたせるには時間外勤務手当の生じない管理職も一体となり全体の動きにする必要がある。
- ・今後沢山ある法改正により有益に対応する。
- ・真の働き方改革として何ができるか、まずは現状分析から始めます。
- ・人事制度に役立てたい。
- ・どのようにして職員の意欲を UP していくかなど、上司と検討していきたいと思います。
- ・人材確保に役立てていきたいと思います。しかし、TOPの意識改革がとても重要だと感じます。総務だけの意識には限界があると感じます。
- ・女性が働きやすい職場、長く続けてもらうための工夫、契約社員を切らないなど。
- ・職場では職員の残業増加や女性のキャリアアップなどが課題になっており、今回きいた生産性の向上も大いに関わってくると思うので、課で課題解決のために話し合ってみたいです。

お気づきの点や感想

- ・時間が足りず少し残念でしたが、とても有意義なお話を聞くことができました。
- ・新たな視点で働き方を考えるきっかけになりました。
- ・自分に分かるか不安でしたが、グループワークでもしっかり会話ができたので良かったです。
- ・もっと上の職についている人にも有意義な研修だと思うので、そういった方にも受講していただきたいと思いました。